

下桶川地区相撲場整備事業（下桶川地区まちづくり委員会）

概要：過疎化・少子高齢化により、「夏祭り」の伝承が難しくなっていることに加え、平成5年に建築した相撲場が老朽化で危険な状態となっている。

継承されてきた歴史や文化を次世代へ伝えるため、相撲場（※）を新たに整備するとともに、赤ちゃんの泣き相撲を含む「夏祭り」を通して、地域住民の当事者意識の醸成に取組み、地域の活性化を図る。

※土俵はまちづくり事業推進助成金を活用して整備し、櫓については下桶川地区において整備を行った。

事業の内容

漁業者体育センター横の熊本県有地に相撲場を新たに建設し、下桶川地区に古くから伝わる「赤ちゃん泣き相撲」等を次世代に伝承する拠点とする。

総事業費

5,474千円（まちづくり助成金 2,500千円、クラウドファンディングによる資金調達2,505千円、自己資金469千円）

ポイント

地域の振興を図る拠点として相撲場を地域の中心地に新たに整備することにより、地域住民がこれまで伝承されてきた歴史や文化を次世代へ伝える等の取組みに参加しやすい環境が整う。

また、地域以外の方にも分かり易く、より訪れやすい場所へ相撲場を整備した。

事業の成果：相撲場を地域の中心地に整備したことにより、地域の一体感の醸成に寄与することになった。現在、新型コロナウイルス感染症の影響で夏祭りの開催は未定だが、収束すれば地域の伝統文化の拠点として大きな役割を果たす。

（事業前）



（事業後）



まちづくり事業推進助成金活用整備箇所